

令和3年度 山瀬かもめこども園 自己点検・自己評価について

令和4年度3月

評価の基準 A・・・よく達成できている B・・・達成できているが課題もある C・・・改善が必要

◎ 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策
教育・保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領をもとに、小学校就学までの一貫した教育、保育が行えるようまた、本園の保育理念、方針、目標に基づき園児の成長、発達に即した教育・保育が実践されるよう、新年度、職員会議において周知を図っている。保護者には、入園説明会、園だより、個人懇談等で園の方針や目標を伝え理解を促している。アンケートや連絡帳等の活用などで保護者の意向の把握にも努めていくようにする。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	A	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	A	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	A	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	
教育・保育内容について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	B	・園児の人権や園児一人一人の個人差に配慮しながら指導計画を作成しているが、より園児の実態を把握し活動が選択、展開されるよう、また、それぞれの園児の興味や欲求を十分に満足させられるよう具体的なねらいや内容を明確に設定し、なおかつ実態に即し柔軟に作成していく心がけている。 ・日々の忙しさもあり、なかなか保育の振り返りができない。子どもの「育ち」や「思い」を保育観やキャリアの違いを尊重した保育者同士で前向きな振り返りを行い、日々の保育の質を高めていく。 ・家庭との連携を十分に図れるよう連絡帳や年2回個人懇談を行い、園児一人一人の理解を深め、こども園と家庭が互いに園児の望ましい発達を促すことができるよう努めていく。
	(2) 認定こども園教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。	A	
	(3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	B	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	B	
	(5) 登園・降園時にこやかに対応しているか。	A	
	(6) 連絡帳・連絡ノート、個人懇談の活用が十分できているか。	A	
	(7) 給食、おやつなどのメニューに偏りはないか。	B	
	(8) 食育計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	
	(9) 乳幼児の健康管理を適切に行っているか。	A	
	(10) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	B	
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	B	・火災や地震等の災害発生に備え、毎月の避難計画を作成し、職員の役割分担の確認、緊急時の対応についてマニュアルを作成し、その周知を図っている。どのような時間や状況においても身を守ることができるよう訓練の仕方を考え、より園児の安全に留意し適切に対処できるようにする。
	(2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B	
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	B	
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか	A	・心身共に健康な生活へと導けるよう複数の保育者が関わっても一貫性の保育・教育が行えるよう周知を図っている。しかし、園児の状態や日々の状態に合わせて柔軟に展開していくよう努める。
	(2) 教育保育週数を確保しているか。	A	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	B	・園児が行事に参加し、活動意欲を高めたり、園児同士の交流を広げめたりする姿がみられる。結果や出来映えに過重な期待をせず園児が主体的に取り組み、喜びや感動、達成感などを味わうことができるように配慮する。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	A	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	B	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	A	

◎教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアや保育観など個々の知識や経験を園全体で共有できるよう また、職員の適切な役割分担と連携によりチームとしての機能を発揮し園全体の組織の向上につながるよう心がけている。 ・シフト勤務の為、出勤時間や退勤時間が異なるので、報告、連絡、相談が怠らないよう職員間で情報の共有を密に図るよう心がけている。 ・家庭や地域において異年齢児の子どもとかかわる機会が減少している。同年齢児の集団活動と共に園児の発達の状況にも配慮しつつ異年齢児との活動を適切に組み合わせ設定するよう工夫をしていく。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	A	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	A	
		(4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	A	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体の立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	B	
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	B	
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	A	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	A	
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B	
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	A	
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B	
(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		A		
研究・研修	園内研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	A	
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	B	
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	A	
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	A	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	A	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	A		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	A		
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A		
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検係りを決め、安全点検表を作成し、施設、設備、遊具、玩具、用具、園庭等を定期的に点検し、安全性の確保や機能保持など具体的な点検を行っている。また、定期的に消毒を行い衛生面にも気を付けている。 	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A		
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	A		
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切、且つ、効果的に活用しているか。	A		
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・税理士事務所による検査を毎月、実施している。 	

◎地域の中の就学前教育施設に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
開 か れ た 認 定 こ ど も 園 づ く り	施設 間 交 流 ・ 連 携	(1) 小学校等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。	B	・コロナ禍の為、小学校、中学校との交流や行事を実施することが出来なかった。しかし、園内の保護者参観を公開参観とし、就学先の小学校の先生方を招待させていただき、園児の生活姿を拜見して頂けた。日頃の園児の活動や引継ぎとして文書だけでは伝わりにくい所も参観して頂き理解して頂けた。今後も小学校教育との円滑な接続に向けて取り組んでいく。
		(2) 小学校等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	B	
		(3) 保育教諭同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	A	
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。	A	
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	A	
	家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	・地域の人材活用や地域社会・他の施設との交流などコロナ禍の為、今年度、実施することが出来なかった。保護者参観は、2日間で日時の指定を行い実施を行った。コロナの状況をみながら地域社会との交流方法を考えていきたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	A	
	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭やリズム室、子育て支援室等を開放しているか。	A	・地域子育て支援では、月1回のベビーマッサージ、親子ふれ合い遊び、園開放、子育て相談を行っているが、ベビーマッサージは、キャンセル待ちが出るぐらいの盛況ぶりです。父親の参加もあった。時代背景や家庭環境などを踏まえ、子育てに不安を感じている保護者が気軽に利用して頂けるよう、また、専門性を生かし、保育教諭、看護師、栄養士が一体となり支援していくよう努める。
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。	A	
		(3) 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。	A	
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	C	
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	B		
	情 報 の 発 信	(1) 園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	C	・毎月、園だよりの発行や地域の新聞に子育て支援事業についてや園行事の発信、ケーブルテレビの利用などで発信を行っている。ホームページなども活用したい。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	
	外 部 評 価	(1) 第三者評価や学校評議員会等を導入し、園運営に反映しているか。	B	・年度末に保護者アンケートを実施し様々な意見や地域からの意見も考慮し、職員間で話し合いを行い、保護者との相互理解が図れるように努める。
		(2) 地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。	A	